



2017年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2016年7月6日

上場会社名 株式会社ツヴァイ 上場取引所 東
 コード番号 2417 URL http://www.zwei.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 縣 厚伸
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 後藤 喜一 (TEL) 03(6858)6544
 四半期報告書提出予定日 2016年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 2017年2月期第1四半期の業績 (2016年3月1日～2016年5月31日)

(百万円未満切捨て)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年2月期第1四半期	933	—	△37	—	△17	—	△17	—
2016年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2017年2月期第1四半期	△4.45	—
2016年2月期第1四半期	—	—

※当社は、2016年2月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2016年2月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2017年2月期第1四半期	4,967	3,997	80.2
2016年2月期	4,990	4,117	82.3

(参考) 自己資本 2017年2月期第1四半期 3,983百万円 2016年2月期 4,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2016年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2017年2月期	—	—	—	—	—
2017年2月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2017年2月期の業績予想 (2016年3月1日～2017年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	2.3	25	△40.9	35	△43.7	17	△50.7	4.31
通期	4,000	2.8	200	36.8	230	28.3	110	17.7	27.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 2017年2月期は、当社単体決算となります。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2017年2月期 1 Q	3,941,400株	2016年2月期	3,941,400株
2017年2月期 1 Q	298株	2016年2月期	298株
2017年2月期 1 Q	3,941,102株	2016年2月期 1 Q	3,928,400株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 参考情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国では、厚生労働省の人口動態統計の2015年推計によると、出生数が死亡数を下回る自然減が8年連続となっており、少子高齢化による人口減少が継続しております。

婚姻件数においても、2015年は前年より約8千組減少し、依然として低い水準で推移しているのが現状であり、国においても今後の5年間で少子化対策の集中取り組み期間と定めるなど、社会全体の結婚支援の意識も高まっております。

このような状況のもと、「幸せな出会いを創造し続ける」ことを経営理念としている当社におきましても、事業の社会的意義をより強く認識するとともに、1組でも多くの成婚退会者を創出し、顧客満足度の更なる向上を実現するべく事業に取り組んでまいりました。

ツヴァイ事業につきましては、外部の研修機関を活用し、マリッジコンサルタントや営業マネージャーなどを対象に現場力強化のための人材育成の取り組みを実施しました。また、「ご来店受付センター」の対象店舗を27店舗から40店舗に拡大し、来店予約の強化に取り組みました。自治体との取り組みでは、入会費用を自治体が負担する特別団体契約を新潟県関川村と締結し、これにより特別団体契約の締結は6自治体となりました。さらに、販売商品やキャンペーンの見直しなどにより入会金売上の単価がアップしたこと等により、ツヴァイ事業の売上高は前年比100.9%となりました。成婚退会者につきましては、お引合せサービスの強化等により、前年比101.2%となりました。

ライフデザイン事業につきましては、自治体との取り組みとしてライフデザインセミナーを茨城県水戸市で開催するとともに地方創生を婚活支援と地域活性化で取り組む「ミライカレッジプロジェクト」を高知県田野町で開催しました。また、東京で地酒をテーマとした地域活性化イベント「KURATOMO岩手」を実施しました。これにより、売上高は前年比254.4%となりました。

パーティ・イベント事業につきましては、ツヴァイ会員向けパーティは、企画の見直し等に取り組んでおりますが、前年に引き続き集客に苦戦をしています。また、会員外のイベント事業であるクラブチャテオにつきましては、大型イベントの企画と自治体や法人団体からのパーティ・セミナーの企画・運営の受注に取り組みました。しかしながら、少人数の出会いパーティの参加人数が前年より下回ったことにより、パーティ・イベント事業の売上高は前年比76.2%となりました。

ウェディング事業につきましては、成婚退会された会員さまへのアプローチを強化し、式場等への送客増加に取り組みました。これにより、売上高は前年比101.6%となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は9億33百万円となりました。利益につきましては、計画通りの進捗であります。広告宣伝費用を先行させたことにより、営業損失37百万円、経常損失17百万円、四半期純損失17百万円となりました。

	(参考数値) 前第1四半期累計期間 (自 2015年3月1日 至 2015年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2016年3月1日 至 2016年5月31日)	増減額
売上高	934,311千円	933,702千円	△609千円
営業損失(△)	△31,760千円	△37,947千円	△6,187千円
経常損失(△)	△14,995千円	△17,569千円	△2,574千円
四半期純損失(△)	△14,186千円	△17,571千円	△3,385千円

※ 前第1四半期累計期間は連結財務諸表を作成していたため、前年同四半期との比較は参考数値です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末から22百万円減少し、49億67百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末から31百万円減少し、22億45百万円となりました。主な要因は、手元現金(現金及び預金と関係会社預け金の合計)が51百万円増加しましたが、売掛債権回収による売掛金57百万円の減少と前受金保全金額の減額に伴う金銭の信託25百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末から8百万円増加し、27億21百万円となりました。主な要因は、システム投資による無形固定資産77百万円の増加と保険積立金の解約等による投資その他の資産52百万円の減少によります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末から97百万円増加し、9億70百万円となりました。

流動負債は、買掛金、未払消費税等、賞与引当金等の増加により、前事業年度末より1億17百万円増加し、5億25百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債等の減少により、前事業年度末より19百万円減少し、4億44百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末より1億20百万円減少し、39億97百万円となりました。主な要因は、四半期純損失17百万円と配当金支払等による利益剰余金が1億35百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年2月期の業績予想については、2016年4月13日に公表しました予想から変更ありません。

当社子会社のZWEI (THAILAND) CO., LTD. につきましては、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、当事業年度より連結から除外し当社単体決算となっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2016年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2016年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	121,832	323,228
売掛金	539,892	482,150
前払費用	65,717	68,140
短期貸付金	70,000	70,000
繰延税金資産	42,407	49,696
関係会社預け金	1,370,000	1,220,000
金銭の信託	105,000	80,000
その他	33,941	24,369
貸倒引当金	△71,611	△71,614
流動資産合計	2,277,180	2,245,971
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	140,719	131,733
工具、器具及び備品(純額)	133,468	128,720
リース資産(純額)	54,578	51,755
有形固定資産合計	328,766	312,208
無形固定資産		
ソフトウェア	585,223	572,048
ソフトウェア仮勘定	51,855	142,149
電話加入権	3,650	3,650
無形固定資産合計	640,729	717,848
投資その他の資産		
投資有価証券	1,109,609	1,105,066
敷金	362,443	362,378
保険積立金	266,129	219,102
その他	5,362	4,646
投資その他の資産合計	1,743,544	1,691,194
固定資産合計	2,713,040	2,721,250
資産合計	4,990,220	4,967,222

(単位：千円)

	前事業年度 (2016年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2016年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,064	120,939
リース債務	12,195	12,195
未払金	53,310	49,604
未払費用	106,865	113,129
未払法人税等	54,598	5,081
未払消費税等	-	26,261
前受金	72,495	73,869
賞与引当金	19,144	47,262
役員業績報酬引当金	2,107	1,022
設備関係未払金	34,769	55,955
資産除去債務	6,900	-
その他	7,685	20,207
流動負債合計	408,136	525,528
固定負債		
リース債務	47,765	44,716
繰延税金負債	282,243	266,378
退職給付引当金	59,911	58,855
資産除去債務	74,642	74,724
固定負債合計	464,562	444,675
負債合計	872,698	970,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,779	454,779
資本剰余金		
資本準備金	460,768	460,768
資本剰余金合計	460,768	460,768
利益剰余金		
利益準備金	60,000	60,000
その他利益剰余金		
別途積立金	2,330,000	2,310,000
繰越利益剰余金	99,535	△16,269
利益剰余金合計	2,489,535	2,353,730
自己株式	△362	△362
株主資本合計	3,404,721	3,268,917
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	701,727	714,956
評価・換算差額等合計	701,727	714,956
新株予約権	11,072	13,144
純資産合計	4,117,522	3,997,018
負債純資産合計	4,990,220	4,967,222

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自2016年3月1日 至2016年5月31日)
売上高	933,702
売上原価	473,452
売上総利益	460,249
販売費及び一般管理費	498,197
営業損失(△)	△37,947
営業外収益	
受取利息	745
受取配当金	17,280
その他	3,312
営業外収益合計	21,338
営業外費用	
その他	960
営業外費用合計	960
経常損失(△)	△17,569
特別損失	
災害による損失	1,886
特別損失合計	1,886
税引前四半期純損失(△)	△19,455
法人税、住民税及び事業税	3,499
法人税等調整額	△5,383
法人税等合計	△1,884
四半期純損失(△)	△17,571

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. 参考情報

当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目からみて、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、当第1四半期より四半期連結財務諸表は作成していません。前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は以下のとおりであります。

前第1四半期連結損益計算書

	(単位：千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年3月1日 至 2015年5月31日)
売上高	934,311
売上原価	410,355
売上総利益	523,956
販売費及び一般管理費	556,215
営業損失(△)	△32,259
営業外収益	
受取利息	565
受取配当金	16,141
その他	269
営業外収益合計	16,976
営業外費用	
為替差損	586
その他	179
営業外費用合計	766
経常損失(△)	△16,048
特別損失	
固定資産除却損	1,043
特別損失合計	1,043
税金等調整前四半期純損失(△)	△17,092
法人税、住民税及び事業税	4,171
法人税等調整額	△6,024
法人税等合計	△1,852
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15,239
少数株主損失(△)	△537
四半期純損失(△)	△14,702